

令和3年度 第1回 総合教育会議

美里町の学力について

令和3年1月27日（木）

美里町教育委員会

指導主事 神部 太輔

1. 今年度の美里町の学力調査結果について



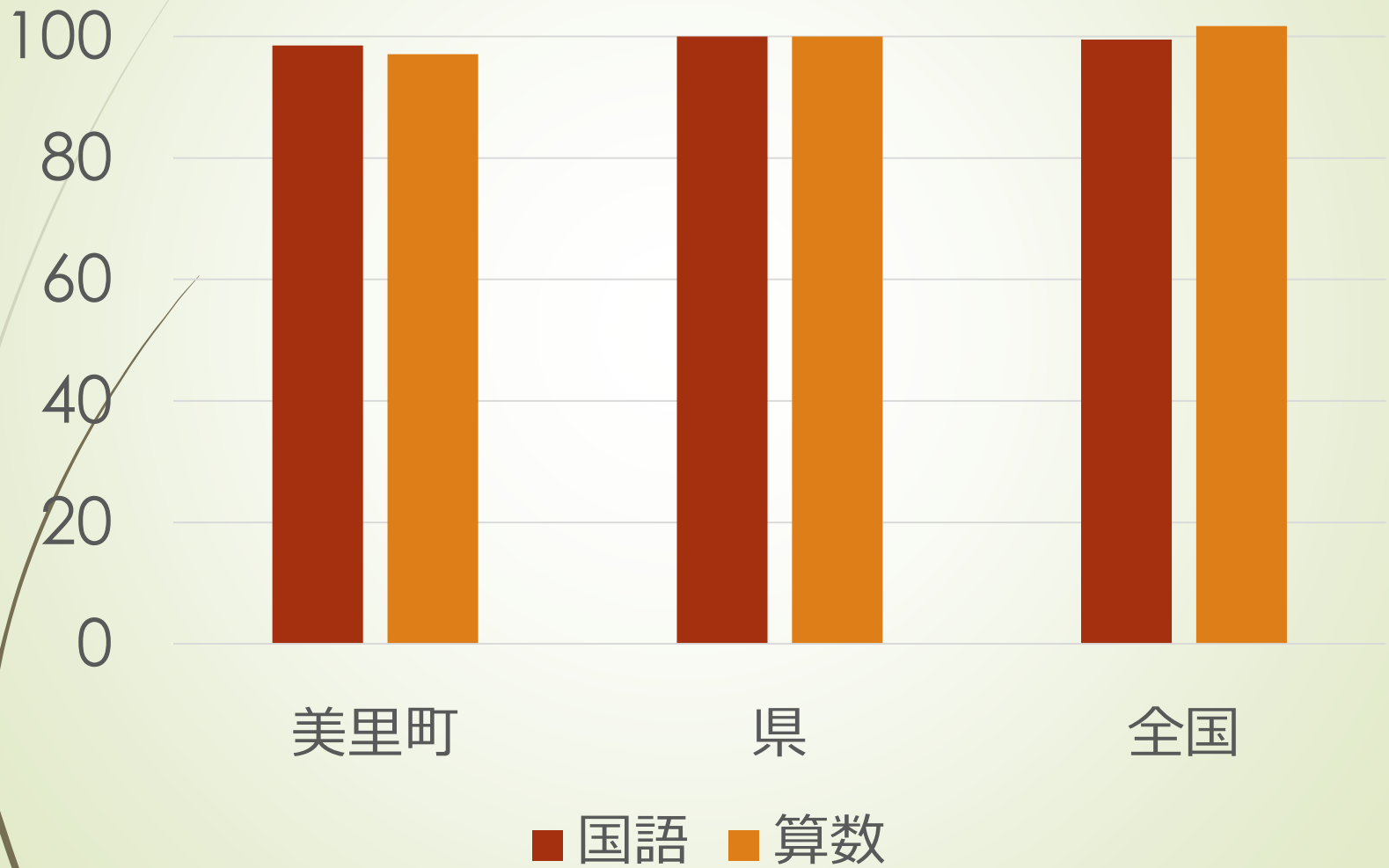
1.(1) R3 全国学力・ 学習状況調査結果



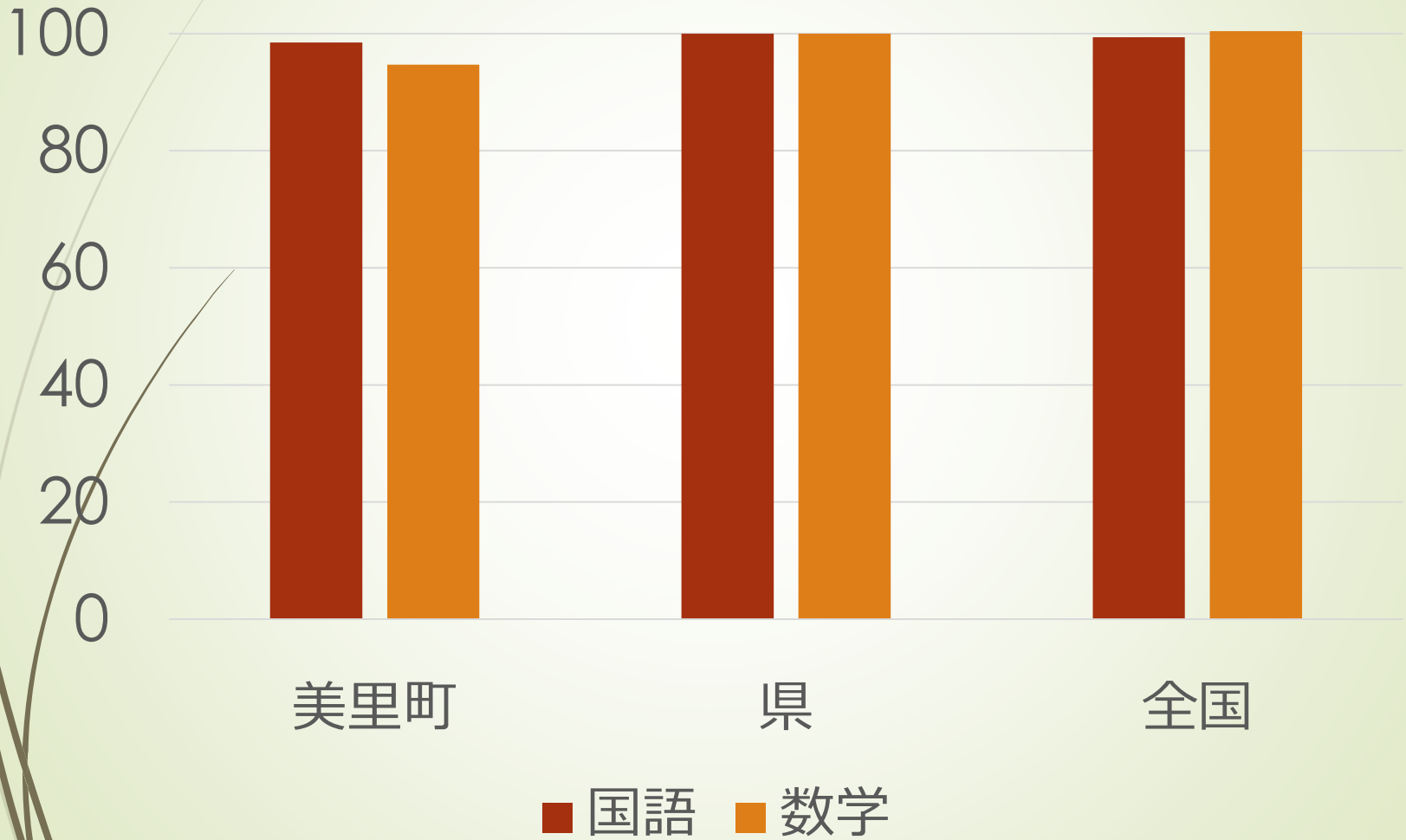
調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

小学校



中学校



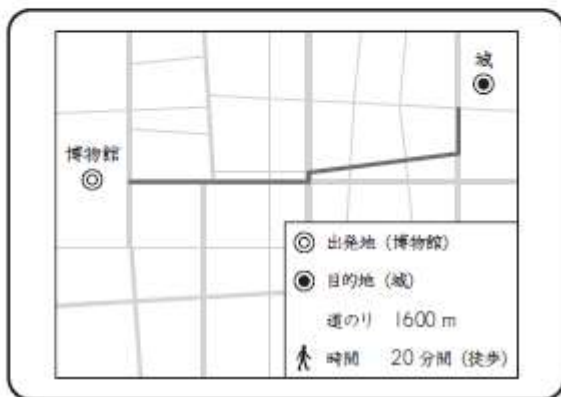
1.(2) 課題の見られた問題



小学校6年 算数 1 (3) 変化と関係

(3) たけるさんたちは、博物館の次に城へ行きます。

城へ行く前に、博物館から城までの道のりと時間をインターネットで調べました。



たける

博物館から城までは1600 mで、20分間かかるようです。



ほのか

私たちが歩く速さと同じくらいの速さなのでしょうが。



しおり

私たちは、500 mを歩くのに7分間かかりましたよ。

次の表は、インターネットで調べた道のりと時間と、たけるさんたちが歩いた道のりと時間を表しています。

道のりと時間		
	道のり (m)	時間 (分)
㊦ インターネット	1600	20
㊧ たけるさんたち	500	7

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

$$\text{㊦ インターネット } 1600 \div 20 = 80$$

$$\text{㊧ たけるさんたち } 500 \div 7 = 71.4 \dots$$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 | 1分間あたりに進む道のりは80 mと約71 mなので、㊦のほうが速い。

2 | 1分間あたりに進む道のりは80 mと約71 mなので、㊧のほうが速い。

3 | 1 m あたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊦のほうが速い。

4 | 1 m あたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊧のほうが速い。

中学校3年 国語2 (1) 読むこと

2 山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いていました。次は、山田さんが書いた「意見文の下書き」です。これを読んで、おとの欄に答えなさい。①から④は、段落の番号を表します。

意見文の下書き

① SNS（ソーシャルネットワークサービス）などを活用し、インターネット上で文字を遣ったりやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を遣って使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。

一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで、「何で来るの?」と書いたところ、「どうして行ってはダメなの?」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか?」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように、いねいに書いていれば、このようなことは起こらなかっただろう。

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSの上さだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

④ SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

一 山田さんは、「意見文の下書き」を読み返して、②と③のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 ①段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- 2 ②段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 3 ③段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 5 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

1.(3) 課題に向けての対策



新聞記事を活用し、読む力の強化

読書新聞 ワークシート準備 2021年12月22日

★★★★【おさらい編】温暖化予測 真鍋さんノーベル賞

教育 ネットワーク

年 組 () 名前 サイン

【1】真鍋さんの受賞理由を書きましょう。

温暖化予測 真鍋さんノーベル賞

◆地球温暖化のメカニズムを解明した気候学者の真鍋敏郎さんが、今年のノーベル物理学賞に選ばれました。



ノーベル物理学賞の受賞が決まり、喜びを語る真鍋さん（左）。アメリカ・ニュージャーシー州の自宅で。

【2】コンピューターを使用して膨大な気象データを解析した結果、どのようなことがわかりましたか。



真鍋さんが開発した気候モデル

①太陽に日射が強く、地球から赤外線が放出され、一部は温室に戻る②空気が膨張し、熱が伝達する

③温室効果ガスが赤外線を吸収し、地球を暖める④地球が暖まることで、大気も暖まる⑤大気も暖まることで、地球をさらに暖める⑥地球がさらに暖まる⑦地球がさらに暖まる⑧地球がさらに暖まる⑨地球がさらに暖まる⑩地球がさらに暖まる⑪地球がさらに暖まる⑫地球がさらに暖まる⑬地球がさらに暖まる⑭地球がさらに暖まる⑮地球がさらに暖まる⑯地球がさらに暖まる⑰地球がさらに暖まる⑱地球がさらに暖まる⑲地球がさらに暖まる⑳地球がさらに暖まる㉑地球がさらに暖まる㉒地球がさらに暖まる㉓地球がさらに暖まる㉔地球がさらに暖まる㉕地球がさらに暖まる㉖地球がさらに暖まる㉗地球がさらに暖まる㉘地球がさらに暖まる㉙地球がさらに暖まる㉚地球がさらに暖まる㉛地球がさらに暖まる㉜地球がさらに暖まる㉝地球がさらに暖まる㉞地球がさらに暖まる㉟地球がさらに暖まる㊱地球がさらに暖まる㊲地球がさらに暖まる㊳地球がさらに暖まる㊴地球がさらに暖まる㊵地球がさらに暖まる㊶地球がさらに暖まる㊷地球がさらに暖まる㊸地球がさらに暖まる㊹地球がさらに暖まる㊺地球がさらに暖まる㊻地球がさらに暖まる㊼地球がさらに暖まる㊽地球がさらに暖まる㊾地球がさらに暖まる㊿地球がさらに暖まる

二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスが増えることで気温が上昇する。今でこそ常識になっている地球温暖化のメカニズムを明らかにしたのは真鍋さんだった。

アメリカに渡って10年以上が過ぎた1990年、超スピードで増える膨大な気象データを解析して膨大な気象データを解析した結果、どのようなことがわかりましたか。

国連の報告書に

さらに90年には、海洋の動きも加えることで、地球温暖化の正確な分析ができるようになった。

こうした真鍋さんの研究成果は、気候変動に関する国連の報告書に取り入れられた。そして、世界各国で地球温暖化を減らすための方法を話し合ったり、国内の政策を決めたりする際の基礎資料になってきた。

真鍋さんの研究は、世界中で地球温暖化の危険性を伝え、国際社会を「脱温暖化」に向かわせるきっかけになったのだ。

「ホームランのような瞬間だった」。真鍋さんは、"瞬間、となった1997年の研究成果をこう振り返っている。

【発展問題】真鍋さんは、アメリカ国籍を取っています。日本出身で、アメリカ国籍を取得した後にノーベル賞を受賞した人を調べて書きましょう。

(2021年10月8日 読売中高生新聞より)

©The Nishimori Institute

教育ネットワーク 教育関連情報は kyokko.yomiuri.co.jp で

- 全学校で実施
- 連携会議で共有

ふりかえりの書き方【小学校】

①新しくわかったこと

「今日わかったことは～です。」

「今日は～ということがわかりました。」

②できるようになったこと

「今日は、～ができるようになりました。」

③さらに勉強してみたいこと

「今度は、～を調べてみたいです。」

「自主勉強で～を勉強してみます。」

④疑問に思ったこと

「～はどうなっているのか気になりました。」

⑤勉強してよかったこと

「～の時に役に立つと思いました。」

「～ができるようになって良かったです。」

⑥これまでの学習とのつながり

「～の勉強に似ていると思いました。」

「～の勉強と違うところに気がつきました。」

⑦生活との関係

「生活の中で～の時に使えると思いました。」

⑧見通しや予想は正しかったか

「予想とは～が違っていて驚きました。」「～が予想通りでした。」

⑨自分や友達のがんばり

「今日は～をがんばりました。」

「〇〇さんの説明の～がわかりやすかったです。」

⑩その他



ふりかえりの書き方【中学校】

①新しくわかったこと

⑥これまでの学習とのつながり

②できるようになったこと

⑦生活との関係

③さらに勉強してみたいこと

⑧見通しや予想は正しかったか

④疑問に思ったこと

⑨自分や友達のがんばり

⑤勉強してよかったこと

⑩その他

ふりかえることは必ず成長につながります!!



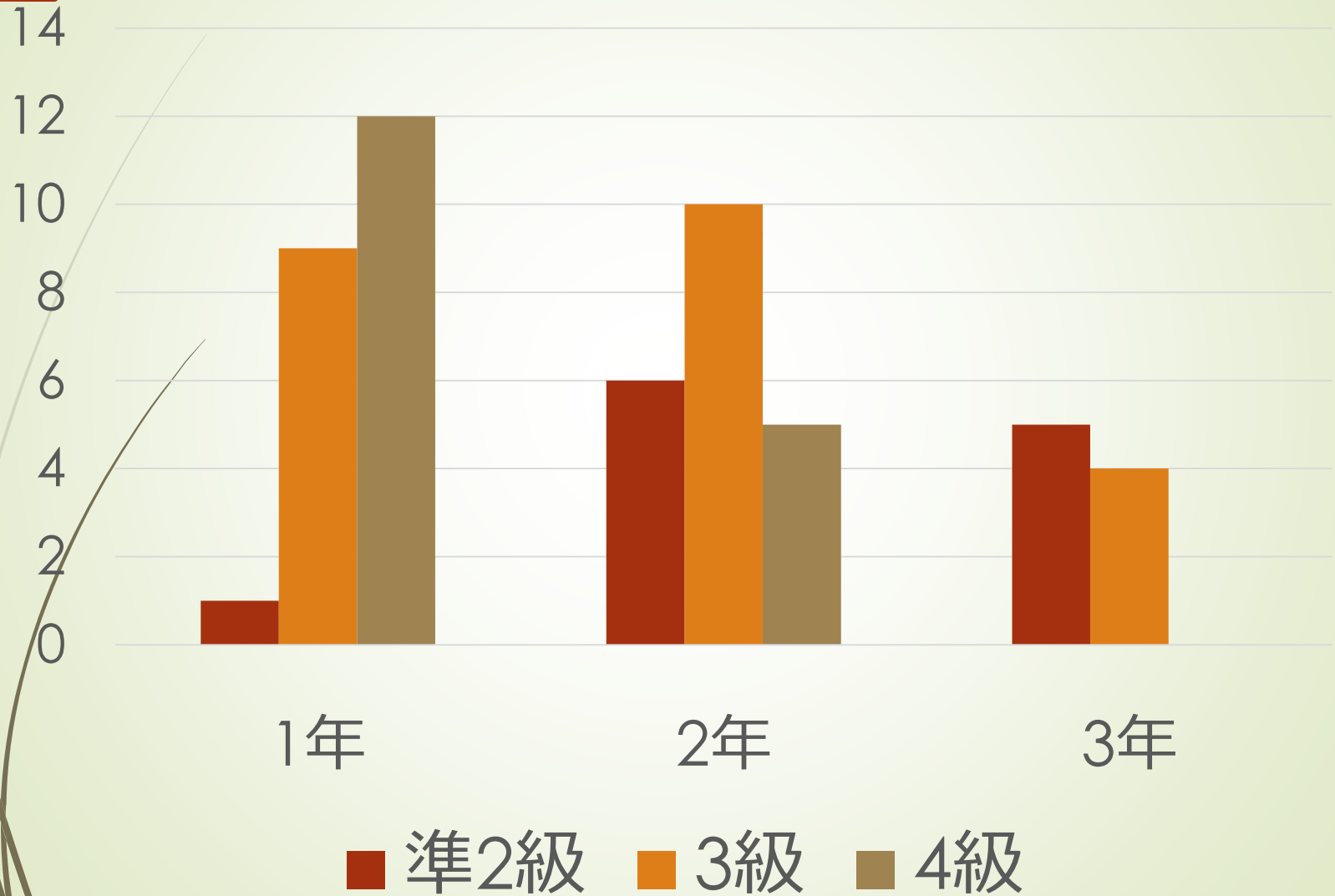
R 3 埼玉県学力・
学習状況調査
(英語)



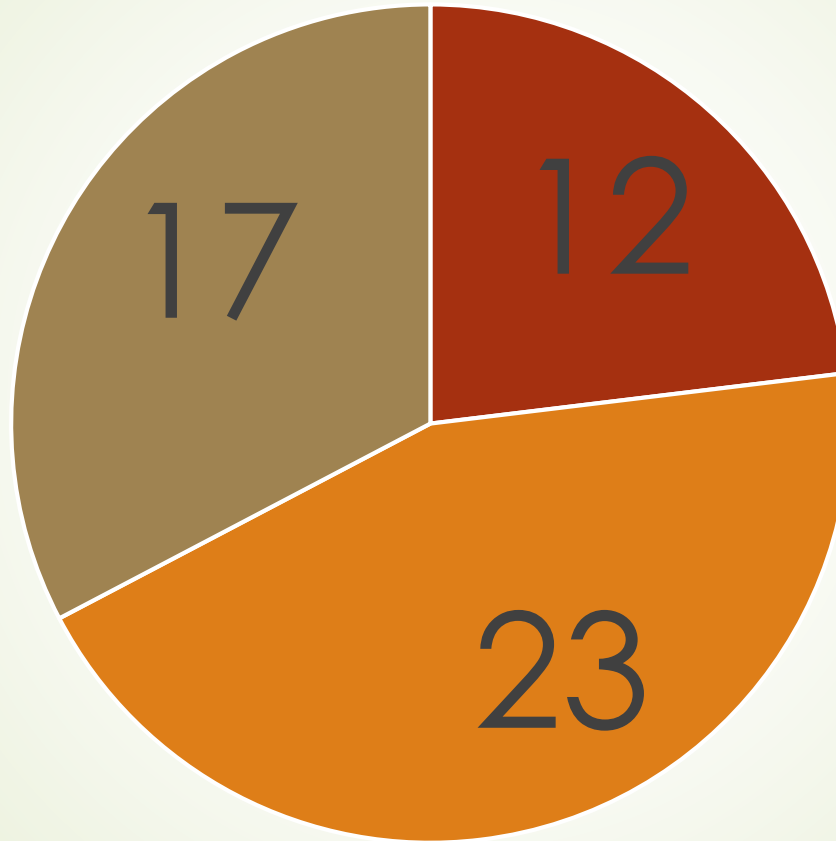
中学 3年生 英語



英検対策講座 学年別



英検対策講座受講者数



■ 準2級 ■ 3級 ■ 4級

1.(4) 英語検定合格者





英検3級以上の合格

➡ 2級 1人

➡ 準2級 9人

➡ 3級 15人

令和3年12月31日 現在

松久小

「G I G Aスクール構想を推進
するための研究」

- ・ 「I C Tを学びの支援ツール」
として扱う

東児玉小

「児童の意欲を高める

算数科指導のあり方」

～主体的・対話的で深い学びの視
点を生かして～

- ・ 具体物や I C T を活用する

大沢小

「相手のことを思いやり、
よりよく生きようとする児童の
育成」

～気持ちや考えを伝え合う活動と
とおして～

- ・ 人権感覚育成のための視点を明記した授業実践

美里中


「自らの考えをアウトプットで
きる生徒の育成」

～既習事項を活かし表現する教育
活動の工夫～

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」
ができるグループ学習を目指す
- ・ 巡回相談を活用して教師の指導
力の向上を目指す

2. R3 Q U結果



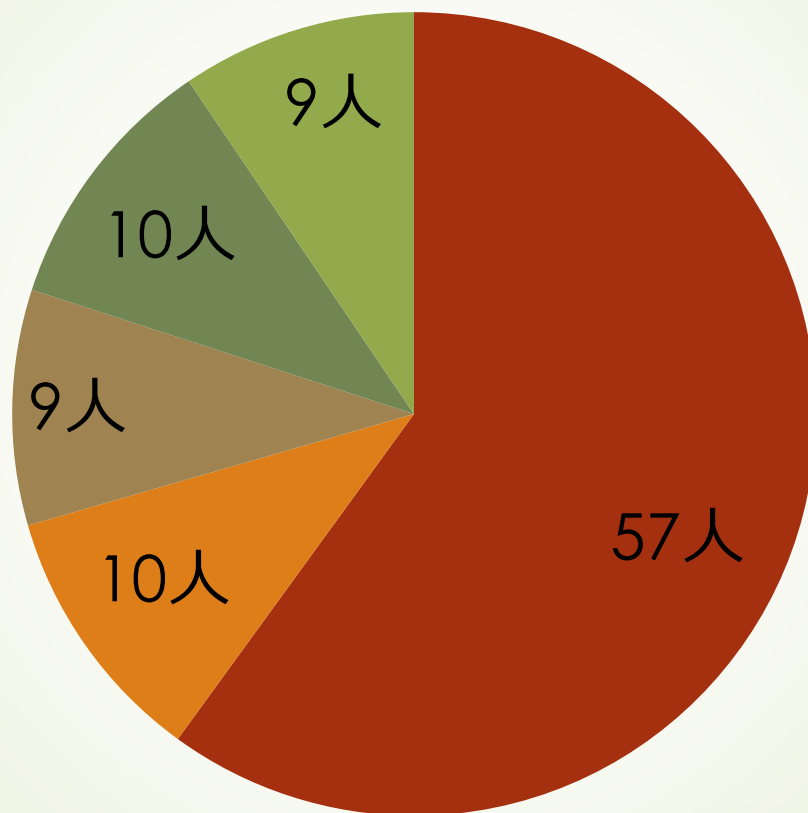


Q-Uとは？

Questionnaire Utilities
(質問紙) (活用する)

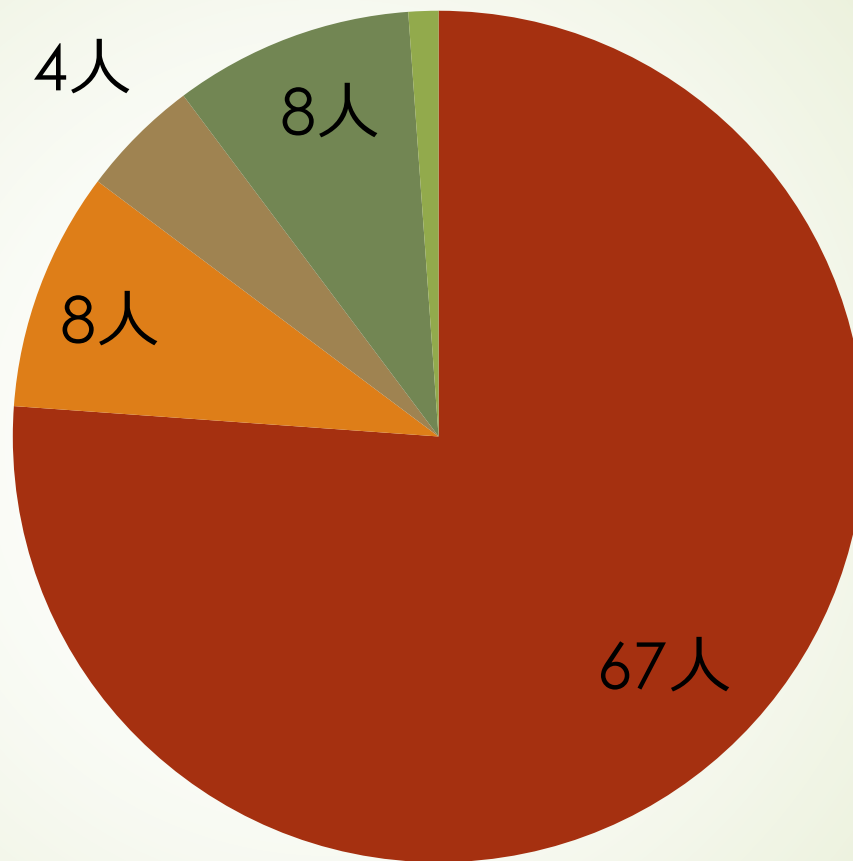
楽しい学校生活を
送るためのアンケート

令和2年 小学校（現小6）



- 学級生活満足群
- 非承認群
- 侵害行為認知群
- 不満足群
- 要支援群

令和3年 小学校 (現小6) 人



■ 学級生活満足群

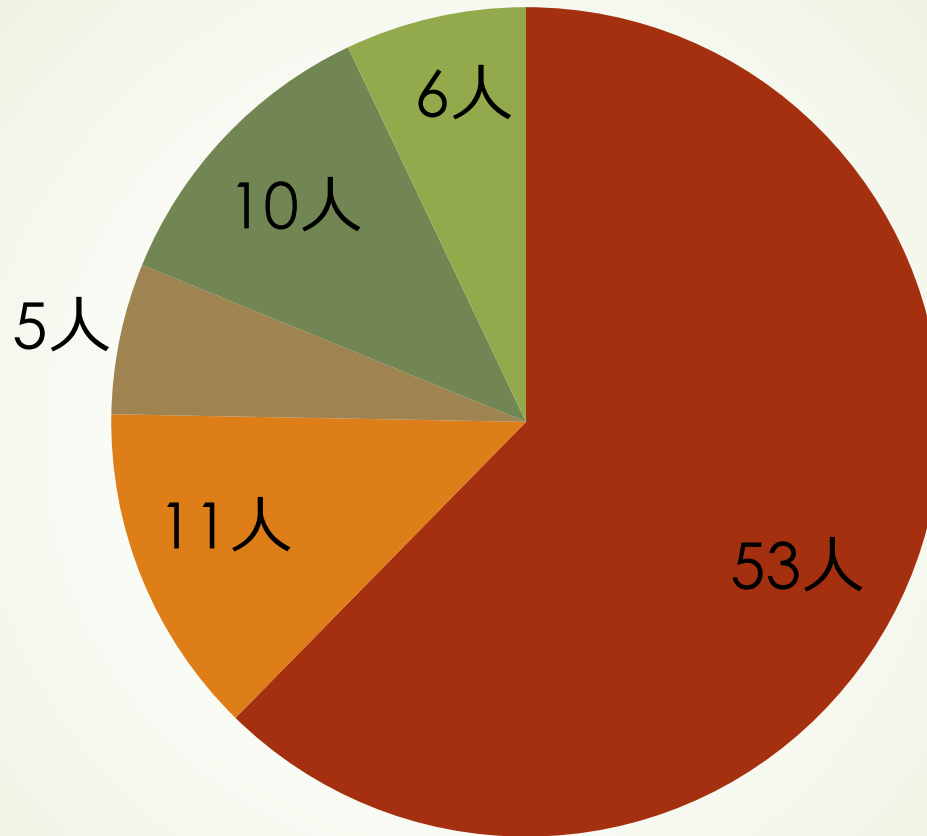
■ 非承認群

■ 侵害行為認知群

■ 不満足群

■ 要支援群

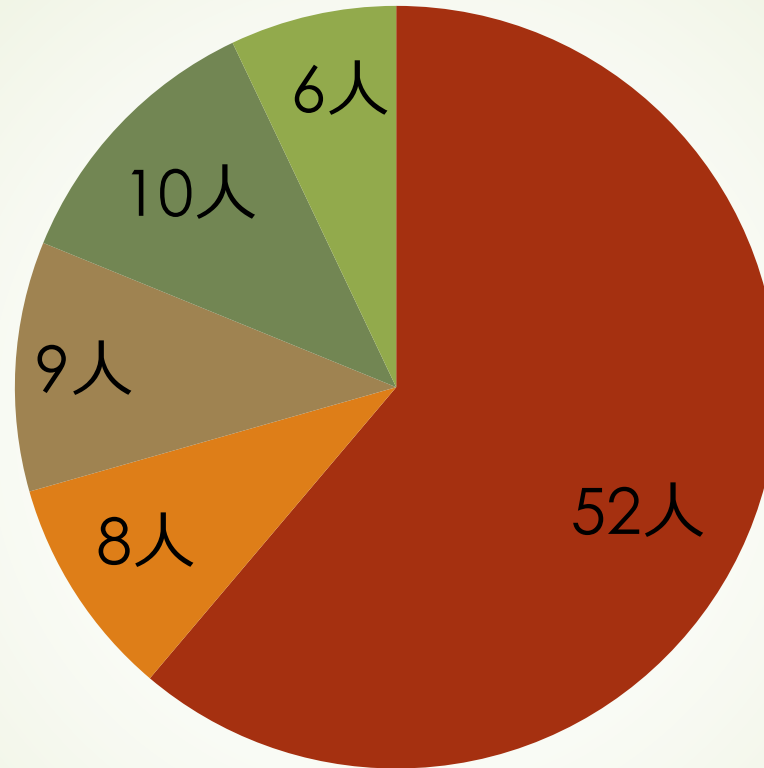
令和2年 中学校 (現中3)



- 学級生活満足群
- 侵害行為認知群
- 要支援群

- 非承認群
- 不満足群

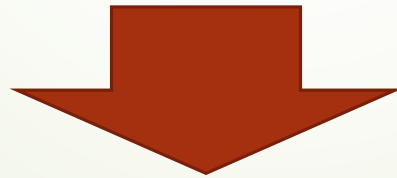
令和3年 中学校 (現中3)



- 学級生活満足群
- 非承認群
- 侵害行為認知群
- 不満足群
- 要支援群

非承認群の特性

- 1 非承認群は勉強が苦手
- 2 行動が遅い
- 3 自分に自信がない



小さな頑張りをほめる

今年度(R3)の予定

- ➡ 5 月 各校 Q-U実施(1回目)
- ➡ 12月 各校 Q-U実施(2回目)
- ➡ 1月 各小学校 CRT検査実施
- ➡ 中学校 実力テスト実施

包み込むようなサポート

